



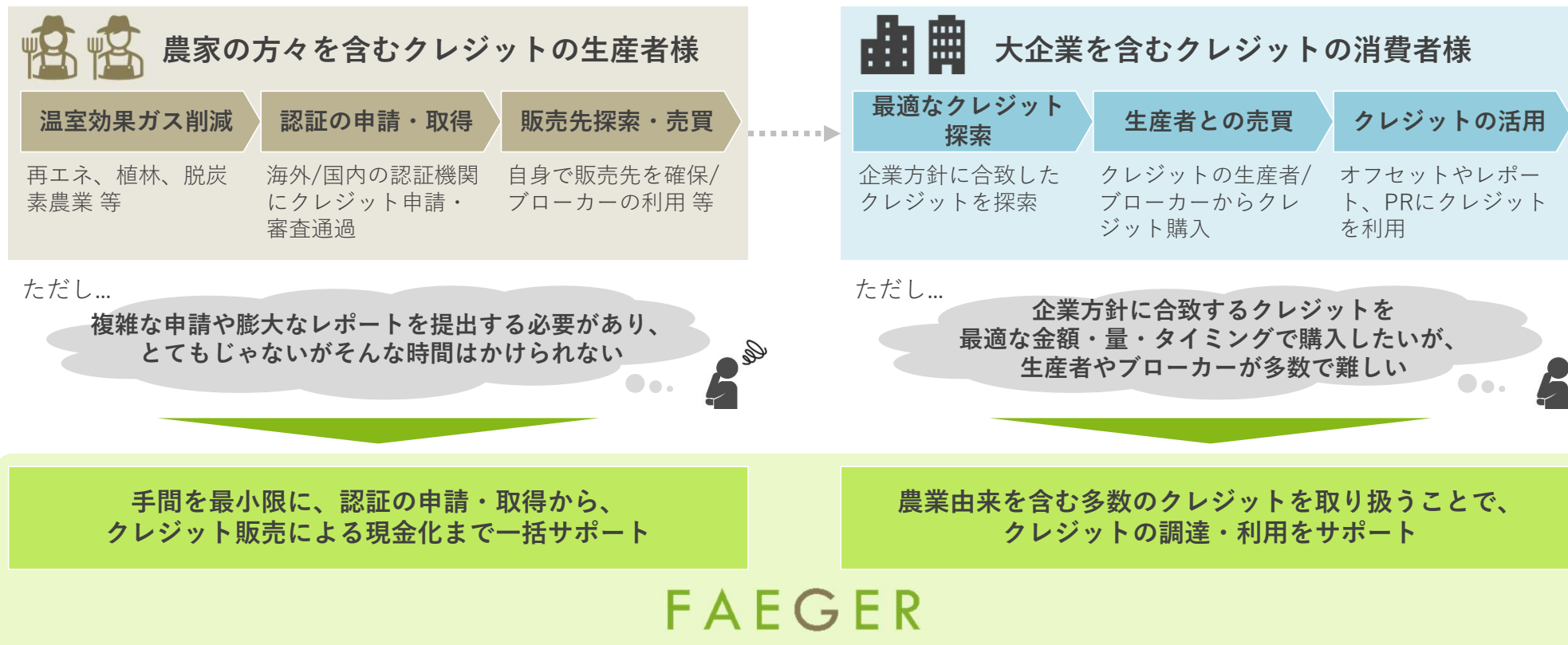
FAEGER

稲作での
カーボンクレジットの活用について

2023年12月
株式会社フェイガー

私たちの取り組み

クレジットの認証には複雑な申請手続きや販売先を見つける必要があります。大きなハードルが存在しています。そこで、農家様向けには申請から現金化までをワンストップで、企業様向けにはクレジット調達や活用を支援しています。





1. カーボнкуレジットの活用について

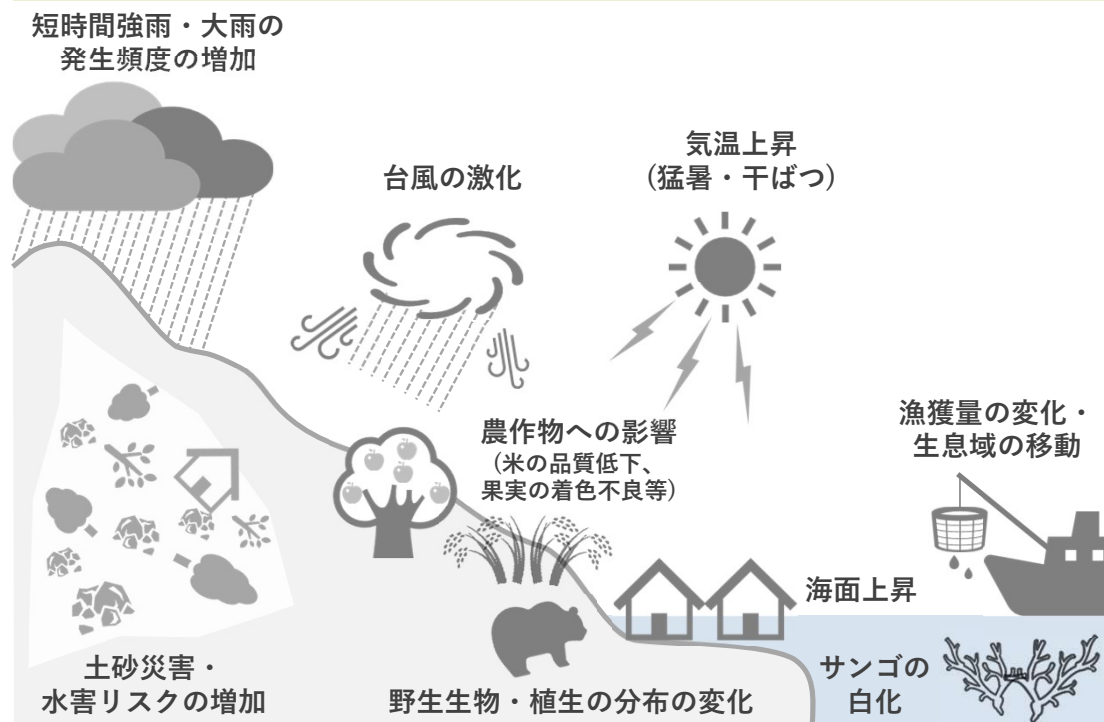
2. 水稲の中干し延長での申請について

3. 弊社の役割

世界のカーボンニュートラルに向けた潮流

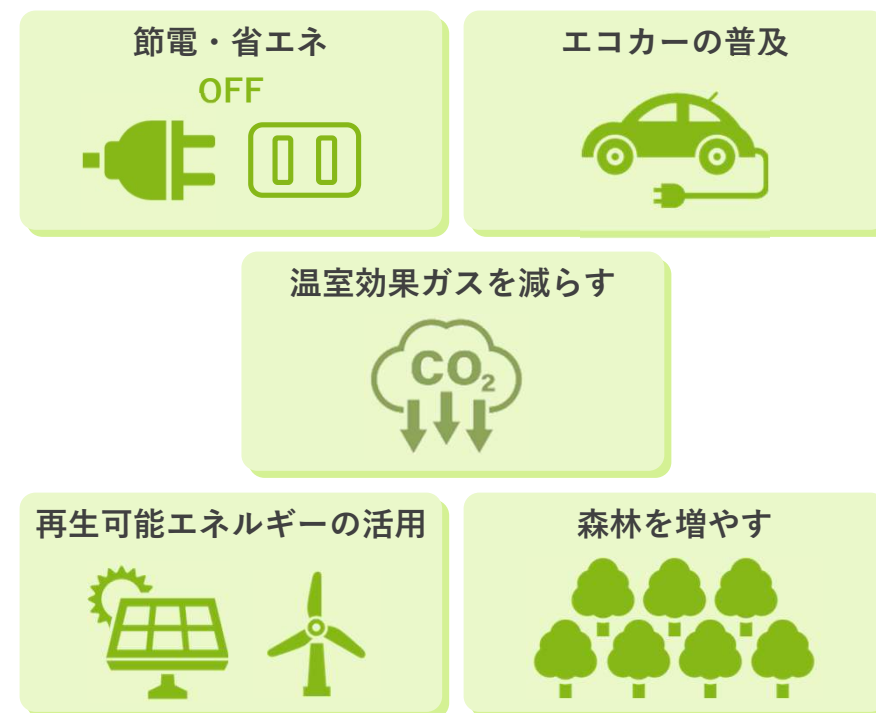
最近になって、にわかに脱炭素やカーボンニュートラルという言葉をよく目にするようになりました。
これは地球温暖化による気候変動リスクが正しく評価され始めた結果で、全世界に大きな変化をもたらしています。

気候変動によるリスク



出所: フェイガー調べ

それに対応するための世の中の動き

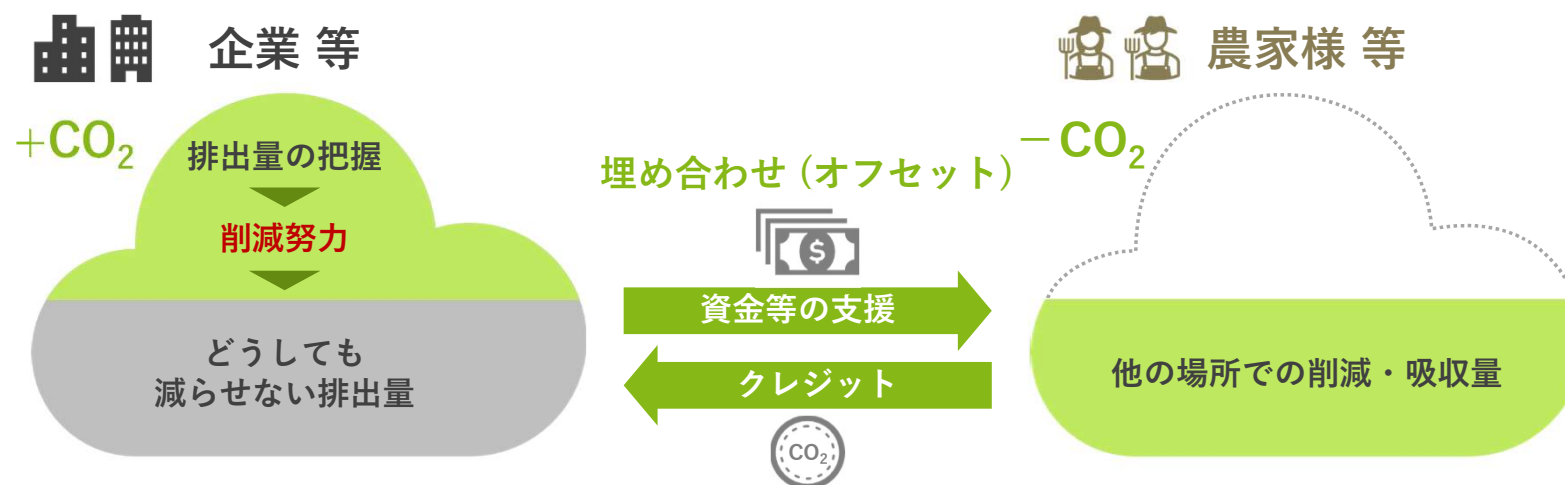


カーボンクレジットとは

カーボンクレジットとは、企業が二酸化炭素などの温室効果ガス（GHG）の削減分の権利を、農家様などの他の事業者から購入するために使うもので、その一つが国内のJ-クレジットです。

例えば、植林によって二酸化炭素の吸収量を増やしたり、牛のゲップ由来のメタンガス排出量を減らしたことで、温室効果ガス削減に貢献した分を認証し、それをクレジットとして企業に販売することができます。

クレジットを販売した企業・団体は、その資金を用いて脱炭素の取り組みを継続／さらに拡大することができ、結果として脱炭素の取り組みを社会に広めることを目標としています。



J-クレジット活用のメリット

J-クレジットの活用では追加収入が得られることに加え、商品のブランド力向上にも活用可能
収入は初期的には大きくないが、収入は毎年続き、かつ複数の認証獲得、単価上昇で一定の収入が得られる見込み



追加収入獲得

認証されたクレジットを企業に販売することで、追加収入の獲得が可能



商品のブランド力向上

国際的な認証機関であり、特に海外に輸出をする際のPRでも活用可能

ステップ

既存のクレジット認証獲得

水稻の中干し等、既存の方法で認証獲得

クレジット価値の上昇

販売単価は需要拡大で上昇しており、今後も単価が上昇する見込みです

認証の種類を増加

将来的には様々な方法で追加申請が可能となる見込みです

収入見込み (水田の例)

水稻中干し延長

-

-

1haあたり
5千～4万円

水稻中干し延長

-

-

1haあたり
1万円～

水稻中干し延長

秋耕

農機のEV化

1haあたり
2万円～

補助金/交付金とJ-クレジットの違い

J-クレジットは補助金／交付金とは異なり、企業への販売が必要で取引価格が定まっておらず、申請・販売サポートにどの企業を選ぶかによって収入額が大きく異なる



J-クレジット

補助金／交付金

運営主体		三省協同（経済産業省・環境省・農林水産省）	省庁、自治体 等
支払い主体		企業	国
必要な 工程	申請・承認	✓ 必要	✓ 必要
	販売	✓ 必要	—
収入額		変動 （取引価格は定まっておらず、申請・販売サポートの依頼先や販売先によって同じ取り組みでも収入額は大きく異なる）	定額 （取り組み内容により交付額／補助率は定まっており、申請業務によって大きな変動はない）
費用発生	手数料	通常、申請／販売サポートで手数料が発生	申請コンサル利用時にのみ発生
	審査費用	プロジェクト登録、認証審査にそれぞれ60~100万円	不要

出所: フェイガー調べ



1. カーボнкуレジットの活用について
2. 水稲の中干し延長での申請について
3. 弊社の役割

J-クレジットへの申請方法（水稻の中干し延長）

田植え前の日減水深測定（農家様あたり1圃場）、長期中干しの実施、中干しの記録と撮影（品種ごと／栽培方法ごとに1圃場）とそれぞれの共有で申請いただくことが可能です

時期		項目	実施内容
2023年	～5月	田植え前	説明会への参加
		田植え前	過去の中干し状況確認
		田植え前	入会・契約締結
		田植え前	圃場の排水性調査（任意）
6月～8月	中干し期間	長期中干しの実施	過去の中干し平均期間から1週間以上長く中干しを実施いただく
		中干しの記録・撮影	中干し期間を記録いただき、品種ごと／栽培方法ごとに中干しの開始時と終了時に代表圃場1筆で撮影をしていただく
8月～10月	中干し実施後	写真・栽培記録の共有	申請用に記録・撮影したデータ・写真を共有いただく
		必要書類の共有	栽培面積確認のため、該当圃場の営農計画書（細目書）や共済耕地図などのコピーや写真を共有いただく
2024年	1月～4月	収穫後	認証取得・支払い* - J-クレジットの認証取得の翌月にクレジット収益分を送金する - 認証委員会が12月・3月開催のため、いずれかで認証取得を想定

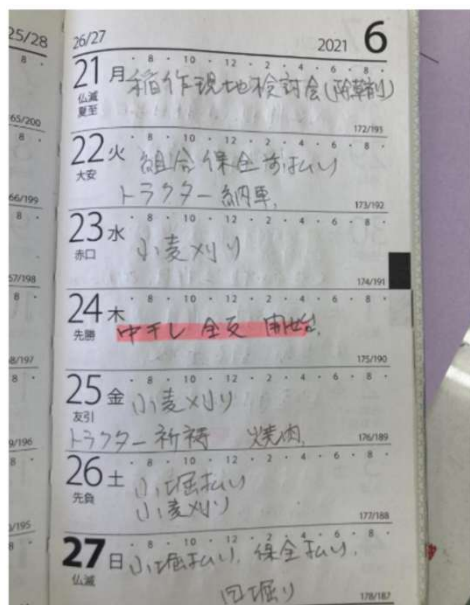
* 認証審査には3ヶ月程度を要するため、最速で2023年12月の認証取得となる予定

証拠写真の参考例 (1/2)

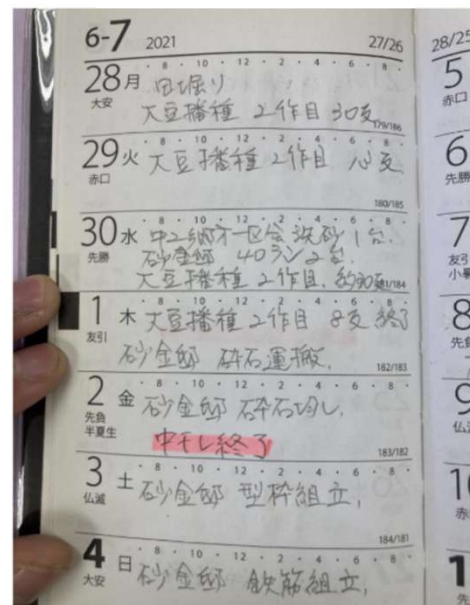
証拠写真はそれぞれの記載や測定結果が目視で分かる形でご提供ください

過去の中干し期間の証拠画像例

2021年中干し開始



2021年中干し終了



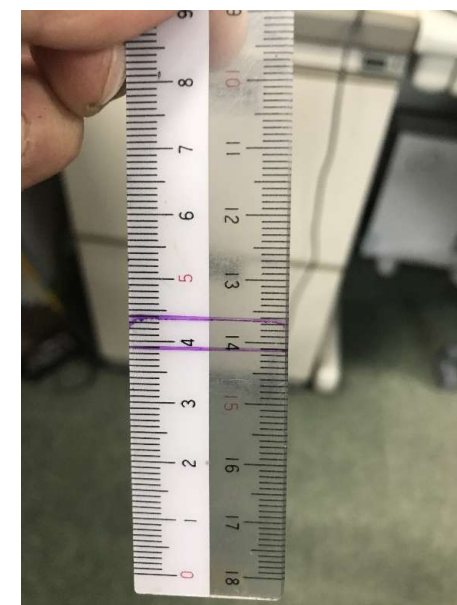
- 中干しの**開始**と**終了**の記載がある部分がわかるように写真を撮影ください
- "落水"、"入水" 等、中干しの開始と終了がわかる内容であれば問題ありません

日減水深測定 of 証拠画像例

測定終了_1



測定終了_2

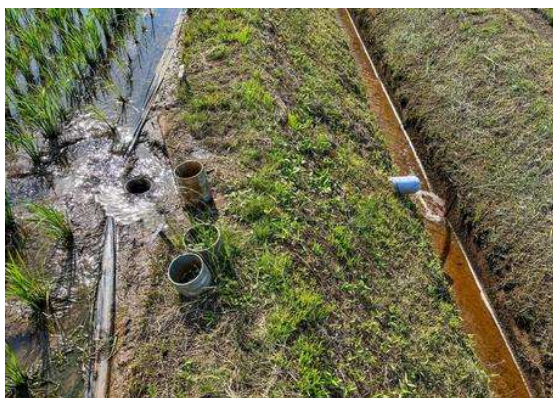


- 測定開始時と測定終了時の差がわかるように写真を撮影ください
- 水面とマーカの差が分かりづらい場合、開始時・終了時のそれぞれの位置にマーカを引き、2本の差がわかるような画像も添付ください

証拠写真の参考例 (2/2)

証拠写真は稲と土壌が見える形で撮影ください。また、開始時に水が抜けきらない場合は排水の様子も撮影ください

中干し開始時の証拠画像例



中干し終了時の証拠画像例



- 中干しの**開始時**と**終了時**それぞれで、**稲と土壌が見える形で**撮影ください
- 中干しの開始時は水が抜けきらない場合には、**排水の様子も**併せて撮影ください
- 上記の写真を1セットとし、基本的には**品種ごと、栽培方法ごと**撮影ください
 - 例：直播やWCSで中干しのタイミングが異なる場合
- ただし、栽培スケジュールが同じ品種は1つにまとめることが可能です

J-クレジットでの追加収入金額の算出方法

J-クレジットでの追加収入金額

=

クレジットの
取引価格

x

クレジットの
生成量

x

対象面積

x

(1 - 手数料率)

(円/t-CO₂)
各社が独自に設定

(t-CO₂/ha)
P12~13 参照

(ha)
申請する面積

(%)
各社が独自に設定

条件別クレジット生成量リスト (1/2; 北海道~北陸)

(単位 : t-CO₂/ha/年)

北海道	稲わらすき込み (9割以上)	堆肥施用 (1t/10a以上)	有機物無施用
排水不良 (7.5mm/日未満)	6.8	6.7	1.1
日排除 (7.5mm/日以上12.5mm/日未満)	2.8	2.7	0.2
4時間排除 (12.5mm/日以上)	2.0	2.0	0.1
東北	稲わらすき込み (9割以上)	堆肥施用 (1t/10a以上)	有機物無施用
排水不良 (7.5mm/日未満)	7.2	6.9	1.5
日排除 (7.5mm/日以上12.5mm/日未満)	4.0	3.8	0.7
4時間排除 (12.5mm/日以上)	3.6	3.5	0.6
北陸	稲わらすき込み (9割以上)	堆肥施用 (1t/10a以上)	有機物無施用
排水不良 (7.5mm/日未満)	5.3	4.3	0.3
日排除 (7.5mm/日以上12.5mm/日未満)	3.9	3.1	0.3
4時間排除 (12.5mm/日以上)	3.4	2.8	0.2

※ 毎年最新のデータに応じて若干の変更あり

条件別クレジット生成量リスト (2/2; 関東~九州・沖縄)

(単位 : t-CO₂/ha/年)

関東	稲わらすき込み (9割以上)	堆肥施用 (1t/10a以上)	有機物無施用
排水不良 (7.5mm/日未満)	2.3	2.4	0.2
日排除 (7.5mm/日以上12.5mm/日未満)	1.2	1.3	0.2
4時間排除 (12.5mm/日以上)	1.5	1.6	0.2
東海・近畿	稲わらすき込み (9割以上)	堆肥施用 (1t/10a以上)	有機物無施用
排水不良 (7.5mm/日未満)	3.9	3.6	0.2
日排除 (7.5mm/日以上12.5mm/日未満)	1.0	0.9	0.0
4時間排除 (12.5mm/日以上)	1.3	1.2	0.1
中国・四国	稲わらすき込み (9割以上)	堆肥施用 (1t/10a以上)	有機物無施用
排水不良 (7.5mm/日未満)	4.1	4.3	0.6
日排除 (7.5mm/日以上12.5mm/日未満)	1.0	1.0	0.1
4時間排除 (12.5mm/日以上)	1.7	1.8	0.2
九州・沖縄	稲わらすき込み (9割以上)	堆肥施用 (1t/10a以上)	有機物無施用
排水不良 (7.5mm/日未満)	1.6	2.3	0.2
日排除 (7.5mm/日以上12.5mm/日未満)	0.8	1.3	0.1
4時間排除 (12.5mm/日以上)	1.0	1.6	0.1

※ 毎年最新のデータに応じて若干の変更あり



1. カーボнкуレジットの活用について
2. 水稲の中干し延長での申請について
3. 弊社の役割

農家様向けの取り組み

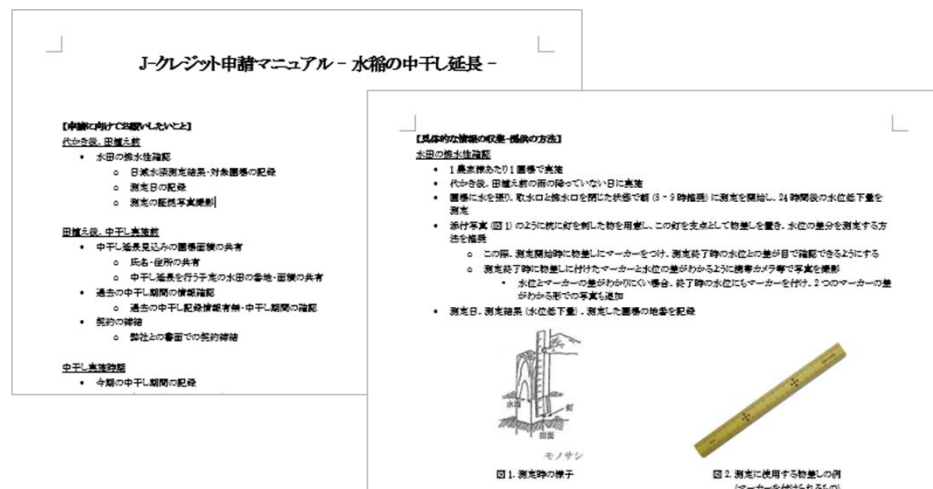
カーボンクレジット化が可能な手法をわかりやすく説明し、実際の取り組みをサポートしています。
その際に多くの手間やリスクが発生することを避けるため、初期費用ゼロで申請～販売まで一括で代行しています。

プロセス	現状の課題	私たちの取り組み
STEP 1 温室効果ガス削減	何をすれば申請できるのか？ 何を提出するのかわからない…	申請可能な手法や具体的にやることをわかりやすく説明 水田の中干し延長を含め、自社で作成したマニュアルなどに基づいてわかりやすく説明致します
STEP 2 認証の申請・取得	複雑な申請や書類提出が必要で、 そんな時間はかけられない… 	複雑な申請・認証取得作業を一括でサポート - 農業日誌の記録などを活用し、手間を最小限に抑えつつ、申請作業を代行／サポート致します - 適切な価格で販売できるように、証拠の品質を高めます
STEP 3 販売先探索・売買	頑張って脱炭素の取り組みをしても 売れないリスクがあるなら難しい…	全量買い取り + 初期費用ゼロでリスクなしで申請可能 - 販売先の有無に関係なく認証取得後に報酬を支払います - 初期費用ゼロで収益から手数料を差し引くため、費用だけ発生することはありません

私たちからの提供資料

取り組んでいただくことを具体的かつわかりやすく記載したマニュアルや写真の例を提供致します。

J-クレジット申請マニュアル



証拠写真例



申請に必要な作業を具体的な農作業の時期に合わせて記載

- 測定方法なども、公的に認められている方法を、図を基に示しながら、わかりやすく説明しています

提出いただく写真は具体例を提示

- どのような写真が必要で、何がポイントになるのかを具体例を基に説明しています

現在までのプレスリリース（抜粋）

農林中央金庫と株式会社フェイガーの 業務提携について

2023.06.09



FAEGER

株式会社フェイガー

農業分野の脱炭素推進とカーボンクレジットを通じた収益化向上を目指し、農林中央金庫と当社は業務提携契約を締結いたしました。
本件業務提携による取組みを通じて、カーボンニュートラル社会の実現に貢献してまいります。

詳細は[こちら](#) ▶

「JAアクセラレーター第5期」に 採択されました

2023.05.30



食と農、くらしのサステナブルな未来を共創するスタートアップ企業を支援する取り組み「JAアクセラレーター第5期」に採択されました。

詳細は[こちら](#) ▶

私たちを選んでいただいている理由

追加の手間やリスクを抑えつつ参加される皆様の収益最大化を目指しており、中干しの延長を無理なく実施できる生産者の方からは特に好評をいただいております

私たちの強み



高価格買取り

- 企業から信頼される高品質クレジット生成で高価格で買い取り・販売が可能
 - 最低買取価格保証と追加ボーナス提供で皆さまの収益を最大化

¥0



リスクゼロで
一括サポート

- 全量買い取り+初期費用ゼロでリスクゼロで申請可能
 - 幅広い企業とのつながりでの強い販売力を持つことで実現

1

国内最大規模
の実績

- 水稻の中干し延長によるJ-クレジット申請では**2023年度は国内最大規模**となる予定



手間を最小化

- 農業経験者による”農家目線での手間のかからない”プロジェクト／ツール設計
 - 自社開発の専用ツールで、証拠の信頼性を保ちつつ手間を最小化

導入事例

地域	山形県
栽培面積	50～100 ha
クレジット 収入見込み	198万円 + ボーナス
申請開始	2023年



【生産者の方のコメント】

- 想定以上にクレジットからの収入が多くて驚いた
- これまでの中干し期間は約1週間で、1週間の延長をしても生育に大きな影響はなかった
 - 特に2023年はこの時期に雨が多かったので、自然と中干し期間が延びて延長できた
- 作業負担も品種ごとに代表圃場1筆での記録・撮影なのでそこまで大きくなく、無理なく実施することができた

脱炭素対策に関するご質問は、
お気軽に弊社までお問い合わせください。

FAEGER

株式会社フェイガー

株式会社フェイガー

Address : 〒107-0062 東京都港区南青山2-2-15 WIN青山531

Website : <https://faeger.company/>



弊社ウェブサイト

* 個別のお問い合わせは農業分野責任者までお問い合わせください。

農業分野責任者： 後藤明生（ゴトウアキオ）

TEL : 03-6824-2823

Email : akio.goto@faeger.co